団体名:ひょうたん寺子屋実行委員会
活動名:「勉強ってホントは楽しい！ひょうたん寺子屋へ来て、まずは宿題・課題からやってみよう」

日　時:令和2年　12月26日(土)・27日(日)　　14時00分　～　16時00分
場　所:太閤山　常泉寺(名古屋市中村区中村町)

◆団体の紹介◆

地域の有志と高校生を中心とした学生ボランティアが連携し「寺子屋（私設の学習の場)」を、学校の長期休暇に開催し子どもたちの学習支援をすることで、経済面や家庭環境で格差のない学習環境づくりと、不登校や非行の防止、学んだ子ども達が高校生、大学生、大人になった時に支える側となるように「地域コミュニティの循環」を目指し活動している。

■活動の内容■

夏休みはコロナ感染防止のため残念ながら中止となった、ひょうたん寺子屋。この冬休みは、天井が高いお寺の本堂にて、換気や体温測定、マスク着用などの対策をとりながら、実施することができました。これまでも寺子屋を行ってきましたが、お寺でやるのは初めて（まさに、本当の「寺子屋」です)。冬休みの初日とその翌日、二日間にわたり、秀吉公が見守る、中村公園そばの常泉寺において、開催されました。

会場に入ると、広い本堂で、子どもたちが机に向かって勉強中。小さな子が鉛筆を握り、宿題をすすめ、それを大きな子が教えています。

今日会場に集まったのは、小中学生が 12 人。それに対して、先生役の大学生が 9 人。1～2 人の子に、先生が一人つく、手厚い体制です。生徒の子たちは、一生懸命ながらも、自宅でお姉さんお兄さんに教えてもらっているかのようなリラックスした雰囲気も感じられ、とてもいい雰囲気です。主催者が途中でそろそろ休憩にする？と声をかけるまで、集中して取り組んでいました。

子供たちが持ち寄った宿題は、算数の計算や、英語、日本史など様々でしたが、中には工作や習字など、宿題の後半に残してしまいがちな大物を片付ける子も。

主催者さんは、子供の頃から中村区育ちの筋金入りの地元っ子。大人になっても思い出の片隅に残るような経験を子供たちにさせてあげたい、とおっしゃいます。

そのお言葉の通り、今日の出来事は子どもたちにとって、大学生とふれあったり、お寺の本堂で勉強をするなど日常ではできない特別な体験で、冬休みの思い出の一つになったと思います。

また先生役の大学生は、大学の友達や後輩にこの活動を紹介するなど、先生役が引き継がれていっているとのことで、よい循環が生まれています。

参加している皆さんが生き生きとしていて、豊かな「地域コミュニティ」の醸成につながる活動だと実感しました。